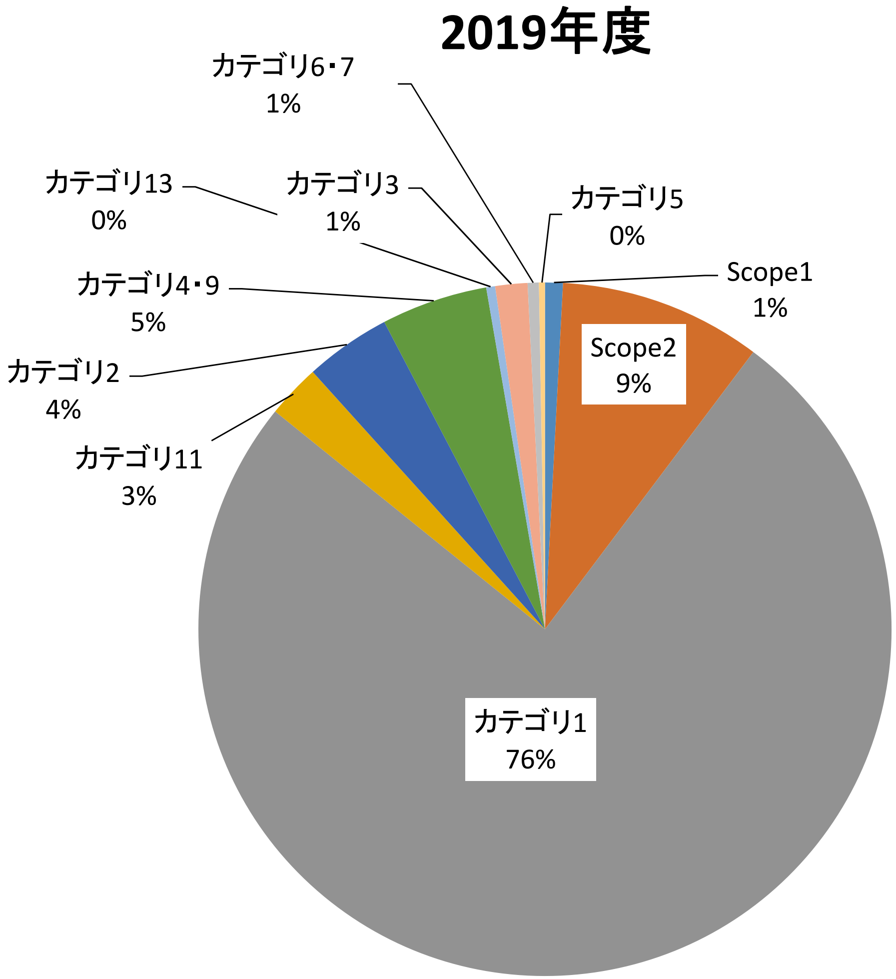
株式会社 バルカー

項目	内容
1.企業情報	● 業種：製造業（化学） ● 事業概要：産業向けファイバー、ふっ素樹脂、高機能ゴム等各種素材製品を設計、製造、加工および販売 ● 事業規模（連結）：売上４８２億円 従業員数１,８７６名
2.削減目標案	<Scope１・２の削減目標と削減に向けた取り組み> 目標：原単位で前年比1%削減 ※創業100周年（2026年）に向けて削減目標を社内検討中 取組：全社的な省エネ活動の推進継続 <Scope３の削減目標と削減に向けた取り組み> 目標：カテゴリ5 歩留まり向上、不良低減等による廃棄物削減 ※創業100周年(2026年）に向けてカテゴリ1、4についてサプライヤーエンゲージメントを社内検討中 取組：全社的な廃棄物削減活動の推進継続 サプライヤーに対し、環境保全配慮要請継続

株式会社　バルカー

項目	内容	
3.基準年のGHGインベントリ	● Scope 1・2・3 の排出量の状況 	● SCOPE1：1,640[tCO2] ● SCOPE2：18,686[tCO2] ● SCOPE3：177,661[tCO2]

株式会社　バルカー

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	1）リスク ● 気候変動による異常気象、自然災害（台風、豪雨、洪水などを含む）により、生産会社操業停止、取引先稼働停止、物流網寸断等サプライチェーン分断による収益悪化。 ● 法規制強化（例：カーボンプライシングや炭素税導入等）による製造コスト増加や製造中止に伴う収益悪化。 2）機会 ● 気候変動対策に積極的に取り組むことで企業価値の評価向上。 ● 環境分野での製品開発による新たな事業機会創出。
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	● 自社の中長期環境目標の設定にあたり、持続的な成長のためには自主目標ではなくグローバル基準と整合性があるGHG削減目標の設定が必要と考え、SBT認定を目指している。 ● 削減目標を設定することにより、社内の環境分野への意識が高まり、新たな事業機会創出を期待する。 ● 気候変動対策に積極的に取り組むことで、顧客や投資家からの信頼性が向上。

株式会社　バルカー

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	● 環境部門で目標案を作成し、CEO及びCOOをはじめとする経営層による討議を経て公式な目標値として外部開示を目指す。
7.今後の課題	● Scope1・2の削減において、海外事業所の再生可能エネルギーへの切替実現性調査など、さらに検討が必要。 ● Scope3のカテゴリ1、4の削減目標達成のために、サプライヤーエンゲージメントや委託している物流業者との協働手段について検討が必要。